

一般社団法人 日本ジュニアヨットクラブ連盟 平成27年度定時総会議事録

日 時 平成27年6月20日(土) 13時30分～15時30分

場 所 東京さぬき倶楽部 3F会議室

東京都港区三田1-11-9

1. 定足数の確認

出席会員18名、委任状19名、計37名。従ってジュニアヨットクラブを代表する正会員36名、学識経験者である正会員19名、合計55名の正会員の過半数を超えて定款第32条(総会成立)の定足数に達しているので本総会の成立を確認しました。

2. 開会の挨拶

石原伸晃会長は公務のため出席出来ず、秘書の皆さんも多忙とのことで代理出席も出来ないので、お詫びするとともに、熱心な討議で盛会を祈りますとの連絡がありました。

佐藤精知夫副会長が、「世の中子供が少なくなってきて、いろいろなスポーツ界で共通の問題だが、一人でも多くの子供を集める努力を皆さんでして行きましょう」と開会の挨拶をしました。

3. 来賓の祝辞

(1) (公財) B&G 財団

梶田功会長は所用の為出席出来ず、代理で出席予定だった海洋支援センター岡田聖一次長も研修が入り出席出来なくなったと連絡がありました。

(2) (公財) 日本セーリング連盟

(公財) 日本セーリング連盟の河野博文会長から所用の為出席出来ないとの連絡があり、代理で出席予定の鈴木修専務理事も急用で本総会には間に合わないが、意見交換会・懇親会までにはお出で頂けるとの連絡があったので、後程ご挨拶を頂くこととしました。

4. 議長選出

定款第30条により会長が議長となる所公務により欠席の為、定款第14条の2により、又予め会長が指名した順序に従い佐藤精知夫副会長が議長に選出されました。

佐藤副会長より、一般社団法人として認可を受けて発足し、順調に活動を進め第2年度が終了しました。重要案件もあるので、皆様のご理解を賜り、連盟の新しい活動にご協力をお願いしますとの挨拶がありました。

5. 議事録署名人選出

定款第34条による議事録署名人選出は議長一任の議決により、以下の2名を議長より推

薦し、全会一致で承認、選出され、両氏も了承しました。

大平 邦夫氏（いわきジュニアヨットクラブ代表者）

中川 二郎氏（横浜ジュニアヨットクラブ代表者）

6. 議 案 審 議

（1）第一号議案 平成26年度事業報告書(案)承認の件

伊藤専務理事より配布資料に沿って平成26年度事業報告書(案)の説明を行いました。

説明終了後、議長より第一号議案の承認を求めたところ、全会一致で承認可決されました。

（2）第二号議案 平成26年度財務諸表(案)承認の件 （監査報告）

伊藤専務理事より配布資料に沿って平成26年度財務諸表（案）について説明を行いました。

貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記、財産目録、正味財産増減計算書総括表、収支計算書、一般会計、特別会計、収支計算書総括表、収支計算書に対する注記のそれぞれにつき説明しました。

続いて、平成26年度財務諸表（案）並びに当連盟理事の職務執行状況等について、茅野信行監事より下記の通り監査報告を行いました。

「私（茅野）が平成27年5月26日に監査を行いました。関係帳簿、証憑及び関係書類を監査した結果、公益法人会計基準に沿い、いずれも公正妥当なものと認められました。又、理事会、その他の会議にも出席しておりますが理事等役員の業務執行についても特別問題となる事はなく妥当であると判断いたしましたので併せて報告いたします。」（監査報告書添付）

その後、議長より第二号議案の承認を求めたところ、全会一致で承認可決されました。

（3）第三号議案 理事20名・監事1名選任候補（案）承認の件

伊藤専務理事より配布資料に沿って理事20名・監事1名の推薦を説明、提案しました。

理事19名と監事1名は再任として推薦致したく、新たに、医事委員長として活動している丸山晴久委員（医師）を理事に推薦したいと説明しました。

その後、議長より第三号議案の承認を求めたところ、全会一致で承認可決されました。

議長から一旦総会を中断し新たに選任された理事により、役付き理事選任の為の臨時理事会の開催を議場に諮った処全会一致で可決承認されましたので、直ちに別室にて臨時理事会を開催しました。臨時理事会は、出席15名で理事総数20名の3分の2以上で成立を確認し、互選により井上洋子理事が議長となり、会長、副会長、専務理事、常務理事の選任について諮った処、候補については

議長の推薦に一任するとの動議が出され全会一致で承認可決されました。

議長から、「会長に石原伸晃理事、副会長に佐藤精知夫理事と安井清理事、又この順番で会長不在の場合の代行を務めることとし、専務理事に伊藤雅宣理事、常務理事に中川二郎理事と中根健二郎理事」を推薦する案が提案され、議場に諮った処全会一致で承認可決されました。

尚、伊藤専務理事から、事務局長を現在代行として活動している井上洋子理事に委嘱したいとの提案をした処、全会一致で承認可決され、井上理事もこれを受諾しました。

井上議長から、以上により臨時理事会を閉会とする旨宣告されました。

佐藤精知夫議長が再び総会議長席に着き総会の再開を宣告しました。

議長より、臨時理事会議長の井上理事に対し臨時理事会の結果について報告を求めた処、井上理事から、臨時理事会において理事の互選により、会長に石原伸晃理事、副会長に佐藤精知夫理事と安井清理事、且つこの順番で会長不在の場合の会長代行を務めること、専務理事に伊藤雅宣理事、常務理事に中川二郎理事と中根健二郎理事が選任された旨報告されました。

併せて、事務局長に井上洋子理事が委嘱された旨報告されました。

議長は、以上により平成27年度定時総会の議案の審議は全て終了したと閉会を宣しました。

7. 報告事項

(1) 表彰規定制定について

中川二郎常務理事より配布資料に沿って、当連盟の表彰規定を去る平成27年5月20日開催の理事会において可決決定した旨説明されました。

今年度については、国際交流日本ジュニアヨット競技会2015終了後の適切な時期に、推薦すべき候補者選任の為の委員会を開催する予定である旨説明されました。

(2) 国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会2015（宮古大会）について

当初出席予定の宮古ジュニアセーリングクラブ代表の橋本久夫氏が宮古市議会の公務で出席出来なくなったので、連盟の宮古大会担当の塩野崎英二理事から現在までの準備状況や、日本スポーツ振興センター及び宮古市からの助成金、補助金の内定を頂いた旨説明あり、第2回実行委員会は7月8日、現地宮古市に於いて開催予定と説明されました。

(3) ジュニアヨット国際親善大阪レガッタ2015（ミキハウスカップ大阪2015）について

玉置純理事より、昨年は中止となった本大会を、今年は民営化で新しい運営会社となり名称も変更された「大阪北港マリーナ」で、9月19日（土）～20日（日）に開催予定であり、大阪北港ヨットクラブの協力を頂いて、クルーザー、クラブハウス等を利用して頂くことになったと説明されました。

収支予算について細目に付いて再検討をすることとなりました。

(4) 第25回ジュニアヨット国際親善レガッタ（ミキハウスカップ東京2015）について

森田光一理事、井上洋子理事より、9月6日（日）、東京都立若洲海浜公園ヨット訓練所で、

NPO法人マリンプレイス東京と東京都ヨット連盟の協力を頂いて開催予定であり、江東区のKインターナショナルスクールから13名の外国の子供たちが体験セーリングに参加する予定と説明されました。

(5) 第3回ジュニアヨットクラブジャンボリーについて

実行委員長の山下弘雄委員が欠席の為、中川常務理事より説明されました。

国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会2015（宮古大会）が8月初めに開催されることになったので、今年は5月初め、ゴールデンウィークの3日～5日の日程で、昨年と同じ静岡県浜名湖の三ヶ日青年の家で実施しました。各クラブ合同の合宿形式で、初心者でも楽しめるイベント企画で、10クラブ39名の選手、指導者・保護者30名、役員・コーチ9名の総勢78名の規模となり、子供たちにも保護者にも非常に好評だったので、今後も継続したいと説明されました。

8. 閉会の挨拶

司会進行の井上事務局長より総会での報告事項の終了が案内されました。

最後に、佐藤精知夫副会長から閉会の挨拶があり、散会しました。

佐藤精知夫副会長 挨拶

皆様のご協力が無事に平成27年度定時総会が終了出来ましたことお礼申し上げます。

（15時30分に終了する。）

上記の決議を明確にするため、議長及び議事録署名人は記名、押印する。

平成27年6月20日

議長（住所・氏名自署）

佐藤 精知夫（印）

議事録署名人（住所・氏名自署）

大平 邦夫（印）

（いわきジュニアヨットクラブ代表者）

議事録署名人（住所・氏名自署）

中川 二郎（印）

（横浜ジュニアヨットクラブ代表者）